



一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ

鳥取県智頭町	
発信日	令和4年10月28日
担当課	企画課
担当者	酒本 和昌
連絡先	0858-75-4112

報道関係者各位

～地域のリアルな課題解決に都市部大企業との連携により挑む～

智頭町をフィールドにした次世代リーダー育成プログラム

「越境リーダーズキャンプ」スタート

本プログラムは、都市部の大企業に在籍する社員と本町職員が、本町においてフィールドスタディを実施したうえで、地域課題解決に資するビジネスプランを作成し、地域の関係者に提案する活動を通して、次世代リーダーとしての内省を深めていくキャリア研修・リーダーシップ研修です。本プログラムの開発・企画運営は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（東京都千代田区）が行っています。本町をフィールドとして実施する本年度は、メーカー・情報通信・金融・コンサルティングを主業とする大企業5社の在籍社員10名、当町職員3名の計13名が研修受講生として参加します。

受講生が挑む地域課題のテーマは、「移住者や関係人口が天候や季節に左右されずに柔軟に働き、活躍することができる環境づくり」です。本町では、2040年の目標人口を5,000人と定め、Uターン施策や移住施策を積極的に実施してきました。その中でも、本町の主要産業である林業に関心が高い若年層が近年増加傾向にあることを踏まえ、林業に興味を持つ移住者の増加につなげていく事業に注力してきました。

しかしながら、林業は天候や季節の影響を受けやすい仕事であり、年間を通じた安定的な仕事の提供という点ではいまだ課題を抱えています。こういった状況下において、地域の「強み」である林業を活かしながらも、移住者や、年間のうち一定期間本町において副業を行う関係人口が天候や季節に左右されずに柔軟に働き、活躍することができる環境づくりが求められています。

こういった地域課題を解決するためのビジネスプランの作成に、大企業在籍社員、本町職員による混成チームで挑みます。「地域の生の声」を踏まえた提案のため、ビジネスプランの検討に先立ち、大企業在籍社員が2泊3日で本町を訪問する現地研修を11月に開催します。各チームが作成したビジネスプランは、2023年1月の最終発表会（オンライン開催）において、地域の関係者に向けて提

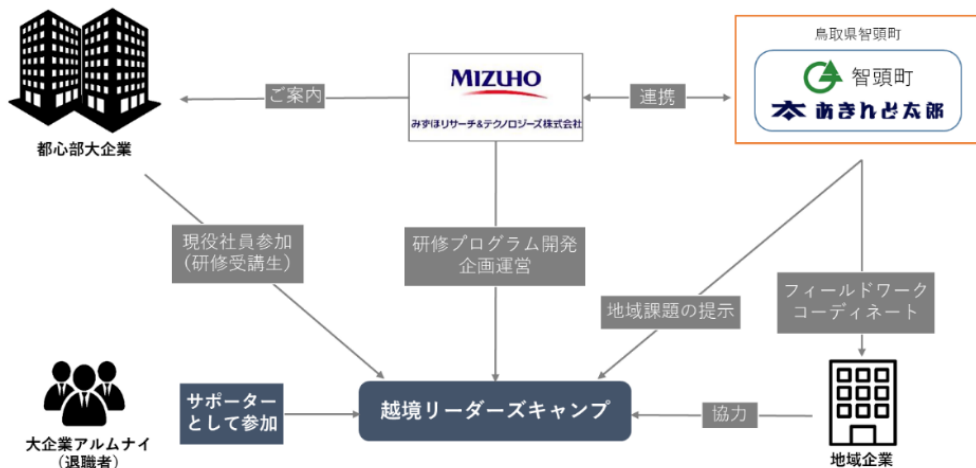
案されます。

○智頭町をフィールドとした現地研修の概要

実施期間	2022年11月7日(月)～9日(水)
実施内容	1日目：○座学研修 ○副町長による挨拶 2日目：○地域で活躍する事業者によるトークセッション ○フィールドスタディ 3日目：○フィールドスタディ
実施場所	旧山郷小学校（座学研修、トークセッション） ※フィールドスタディの際は、受講生がグループごとに町内にて地域の事業者へのヒアリングを実施

○実施体制

智頭町役場は、株式会社あきんど太郎（八頭町）と連携し、現地研修におけるフィールドスタディのコーディネートを行います。また、今年度の地域課題のテーマである、「移住者や関係人口が天候や季節に左右されずに柔軟に働き、活躍することができる環境づくり」は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社とのディスカッションを踏まえて、ビジネスによる解決に適した実在する地域課題として設定しています。



○詳細情報

具体的なプログラム内容等のより詳細な情報については、以下のみずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社からのリリースをご覧ください。

<https://www.mizuho-rt.co.jp/topics/2022/leader0927.html>